研究課題：小児非結核性抗酸菌感染症に関する全国調査

1．　研究の目的

小児における非結核性抗酸菌感染症の症状や治療、予後について検討します。

2．　研究の方法

日本小児感染症学会教育研修プログラム基幹施設およびその連携施設＊で、2016年1月から2025年12月までに診断された小児非結核性抗酸菌(NTM)感染症と診断された患者様が対象です。電子診療録を用いて、個人情報を伴わない情報を調べ、まとめます。

3．　研究期間

倫理委員会で承認を得られ、かつ、共同研究契約の締結後から2028年12月まで。

4．　研究に用いる資料・情報の種類

性別、年齢、感染した部位（臓器）、検出された菌とその薬剤感受性結果、治療の有無、抗菌薬の内容と投与日数、合併症、予後等の情報を調べます。

5．　外部への資料・情報の提供、研究成果の公表

この研究で得られた結果は、医学雑誌などに公表されることがありますが、患者様の名前など個人情報は一切分からないようにしますので、プライバシーは守られます。また、この研究で得られたデータが本研究の目的以外に使用されることはありません。

6．　研究組織

研究機関：地方独立行政法人埼玉県立病院機構　埼玉県立小児医療センター
研究責任者：感染免疫・アレルギー科　医長　古市　美穂子
研究分担者：感染免疫・アレルギー科　科長兼副部長　菅沼　栄介

7．　お問い合わせ先・研究への参加を希望しない場合の連絡先

研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。
また、資料・情報が当該研究に用いられることについて患者様もしくは患者様の代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、2026年3月31日までに下記の連絡先へお申出ください。その場合でも患者様に不利益が生じることはありません。

地方独立行政法人埼玉県立病院機構
埼玉県立小児医療センター
医事担当（代表 048-601-2200）